

Marked girls Origin Vol.14

初恋メイド2

私の初恋お坊ちやまのご主人様に
調教される理由がない

Adult
Only
R18
♥ DOUJIN

~ First Love Maid ~





諸事情で
もう一人、新しいメイドが
必要になったらしい

このお屋敷には
既にメイドが
いるらしいんだけど



私の名前はルイ
故郷で貧しい
思いをしてる
家族の為に

今日から
メイドとして
働く事になった



諸事情って
なんなのかな
気になるけど

どんな
理由であれ
頑張るしかない

ルイ・ヴィクトリアと
申します

奉公は、
初めてだけど
仕事は仕事

よろしく
お願い
致します

こちらこそ
よろしく頼むよ

これは
私の息子
イヴだ

割り切ってる
つもり
だったのに

歳も近そうなのに
凛とした佇まいと
憂いを帯びたその瞳に
私は目を
奪われてしまった

…よろしく
お願いします

そして
それが私の

初恋だった

初恋

メイド

過酷な労働を
想定していたもの
だから

御主人様もイヴ様も
とても良くしてくれて
特に不満もなく働
働かせて頂いていた
のだけれど

イヴ様
休憩になさい
ましょう

…うん

話に聞いていた
先住メイドの姿は
一切見えないし

御二人が普通に
過ごしている事が
むしろ私に違和感
を感じさせていた

なによりイヴ様は
私の前ではあまり
心を開いて下さらない
事が辛かった

働き始めたのは
家族の為

私は自分にそう
言い聞かせて
メイドとして
敬愛するイヴ様の側で
働かせて頂けるだけで
私は満足していた

それからしばらく
したある日
夜中にどこかへ
向かうイヴ様を
見かけた

イヴ様への思いと
好奇心に負けて
私は後を追ってしまった

広大なお屋敷の中に
こんな通路があっ
たなんて……

プライベートに
踏入すぎてはいけ
ないとわかっていたのに

知らされて
いない事は
知らないくて
いいという事

扉の先から
聞いた事のない
声が聞こえる

この先に行って
しまったら
きつともう
引き返せない

それでも
どうしても
もつとイヴ様の
事が知りたい

イヴ様…？

イヴ様にとって
私はただの
メイドでも
私にとつての
イヴ様は…

…えん？



え、なに
イヴ様と…
誰…？

話に聞いてた
先住メイド…？
でも、なんで
こんな所に

それに、あの
お腹…
まさかイヴ様の
子供が…？

恋人…でもない
雰囲気だし
なんなの…？

やばい
ワケわかんなく
なってきた

とりあえず
気付かれない内に
この場を離れて…

御主人様に
伝えなきゃ...

ルイ君
こんな場所で
何をして
いるのかね

あつ
ご、御主人様

あのつ
この先のつ
屋根裏部屋？でっ

イヴ様と...
知らないメイドがつ
そのつ...

ふむ...
まあ察しは
つくが

とりあえず
私の部屋に
来なさい

は、はい

ほう…
息子が屋根裏で
身籠っている
メイドと…？

は、はい

ふむ…
直接触れた
のなかった

今はまだ
良いだろう

それでは
お許しを…

パニックで
思わず言っ
てしまったけど
イヴ様
大丈夫かな…

あれが
孕んで
いるのは
私の子だ

えっ

そ、それは一体
どういう…!?

次期当主
となるイヴを
教育する為の
一貫なのだ

グッ

どれほど
渴望しても
自分の手中に
収められない
無力感…

その困難を
乗り越えてこそ
我が一族の
世継ぎに
ふさわしい

君にも本来の
奉仕の仕事をして
もらおうしよう

あのメイドの名前は
ココというのだから
出産も近いので
相手をさせる訳にも
いかず養生してた
というワケだ

え……なにこれ……
男の人の……
こんな……
なるの……?

そこで君には
代わりに
私達の性処理を
してもらうはず
だったのだから
イヴが中々
受け入れ
なくてな

イヴが自分で
慰めるとい
うのなら

私は遠慮なく
使わせて
もらうと
しよう

自慰など
する前に
メイドならば
御主人様に
尽くしなさい

私はイヴ様の事が
好きなのに……っ

ダメ、私
なに……

さっき見た
イヴ様のと
全然違う……
すごいニオイ……
頭くらくらする……

君は家族の為に
働きに来たのだらう
食いつ持たなくな
ならないように
玉も竿もしっ
舐めなさい

熱くて
重い...

よしよし
やればよし
出来るじゃ
ないか

この中の精子
全部出たら
どうなっちゃう
んだらう

だがまだを
女の全てを
使えて
いないな

ん？

ん？

ん？

ん？

ん？



おお、生娘に
しては中々の
絞り具合
ではないか

全て飲み
干すのだぞ

熱い
濃い

頭の中が
御主人様で
ないっばい
なっちゃう...っ



ふむ
女の素質は
充分だな
ようだな

そうだな
この調子で
奉仕し続け
られるのなら
息子を任せ
よう



あれ…
ココさん…？

僕は…

イヴ様
お目覚めですか

今日から私が
夜の方もお世話
させて頂きます

ルイさん…！？
これは…！？
ほどうい
てください！

それは
出来ません

これは御主人様
からの御命令
ですので

イヴ様
ごめんなさい
こんな形
だとしても
私は…

とっ…♡



ルイさんっ…
だめっ…あつ…!

イヴ様
私もはじめて
でしたん

…私の
ご奉仕では
ダメですか?



うあつ…
すごい…っ
気持ち
いいっ…

イヴ様っ…♡
私も気持ち
いいですっ…♡



あつ
出るっ
出ちゃうよっ

…今なら
わかります
ココさんの事を
想ってるん
ですよ





さて
おしおき
だが：
どうすれば
いいかわか
っているな？

はいっ♡
御主人
様のっ♡
極太おちんぽ
で♡

卑しいルイの
おまんこに
おしおきして
くださいっ♡

仕事として
体を求められ
て

全くの
メイドだ
もつと
主従関係を
弁えたまえ

ありがとう
ございますっ♡

こんな事
私身が
望んでる
ワケじゃ
ないのに



せつかくの
特濃精子だ
好きなのだ
イキたまえ

よし
限界まで
入って
おるな

：そろそろ
イヴの方も
頃合いな
だろ
様子を見
に行く
するが
来たまえ

ココさんっ

イヴ様っ…
触れては
いけませんっ
私はもう
御主人様の…

そんなのもう
関係ないっ

僕はココさんが
いいんだっ

イヴ様…

…わかりました
そこまで
言われては
私も、覚悟を
決めないと
いけませんね

ココさん…
どうしても
ずつとずつと
こうした
かったんだ

…ふふっ
相変わらず
わがままですね

あれほどに
私のモノに
触れてはと
言いたくない
おつたのに…

やはり
おしおきが
必要だな

ま、待って
下さい
御主人様

イヴ様への
おしおきならば
私が受けます

何故君が
そこまで？

イヴは
あのメイドが
お気に入りなの
ようだよ

…それは
知っています
それでも、
今は私が…

私がっ！

イヴ様の
メイドだから
ですっ！！

ほう…
そこまで
イヴの事を
想っていたとは
泣ける話だな

ならば…

主人に向かつて
あれ程の啖呵を
切ったのだ
余程の
誠意があると
みていいの
だろうな？

はい…

不躰な物言い
大変申し訳
ありません
どうか
私の体をご自由に
お乗り下さい

ほう、東洋の
土下座か
中々見事な
情けなさだ

この様な知識
事前にならわ
ざ仕入れたの
だろう？
言葉攻めだけ
で軽イキしお
つて

イヴの事など
建前で

本当はお前が
犯されたいだ
けではないのか？

…ツ♥
その様な
事は…っ♥

まあ面白いモノを見せてもらった

良いだろう

では...! お許しを...!

ああ

自分から挿れるのだ

え...

こうっ...♥
ですかっ...♥

イヴ様の為っ...♥

これは全部イヴ様の為なんだからっ...♥

茶番に付き合ってたのだ

今度は私を楽しませたまえ

私がおちんぽを欲しがってるワケじゃ...♥
な...いいっ...♥





御主人様の為の
おまんこに
なっちゃった…♡



実に良い
眺めだない
イヴと
あのメイド
にも見て
もらうか？

それ
だけはっ
ご勘弁
をっ♡



ふむ、まだ口答え
する元気が
あるようだな

あつっ…
私のっ…
フア…スト
キス…♡



子宮を
突き上げながら
射精してやるから
無様にイキたまえ

ダメだ…
私の体…
もう…♡





まだまだ
新米メイドに
しては見事な
イキっぷり
だったぞ

これから
良い働きを
期待してい
るからな

私の体は
もろの御主人様の
モノだけに……
私の心は
まだイヴ様
の想いで
いっぱい



でも大切な人
だからこそ
初恋は
実らない
なんて
思わせない
たくない
だって……



私のこの
気持ちも

初恋だっ
たんだもの

初恋メイド2



スガヒデオ：はじめましての方ははじめましてスガヒデオです
メイド愛も深まりつつあるこの頃、久々に少し本文を増やしてみようと思
ったらとんでもなく大変でした、でも純愛だから仕方ないね
初恋なのか寝取られなのか横恋慕なのか
人間とは業が深いですね
それではまたお会いしましょう！

Usakinoko：ちゅびちゅびちゃばちゃば

奥付

発行日：2024年7月7日

発行：Marked-two

発行人：スガヒデオ Assistant：Usakinoko

印刷：SUNGROUP

メール：sugahideo.mk2@gmail.com

Twitter：@sugahideo_mk2

無断転載，複製禁止

For Adult only





Presented by Marked-two